

3. 数値目標の状況

(1) 第2次那覇市観光基本計画のKGIの現況

将来像	目指す姿		KGI	基準値	現況値	目標値	
					2025年	2029年	2034年
みんなで つくる 美ら島の 持続 可能な 国際 観光 交流 都市	全体	市民、観光関連事業者、観光客などのステークホルダーが歴史、文化、自然等を尊重し、住んでよし、訪れてよしの観光地域づくりを目指すことで那覇市の地域経済の活性化に寄与している	観光収入 (国内観光客及びインバウンド客の合計)	4,126億円	5,145億円	5,900億円	6,800億円
	市民	観光振興による市民生活への効果を実感し、シビックプライドが醸成されるとともに、観光客の来訪を歓迎している	観光客に来訪してほしいと思う市民の割合	55.2%	46.0% (R6年値)	68.0%	73.0%
	観光 関連 事業者	働き続けるための労働環境が整備されており、観光関連事業者が観光産業で就労する魅力を感じ、観光産業に従事したい気持ちが醸成されている	今後も観光産業に従事し続けたいと思う観光関連事業者の割合	73.9% (R7年値)	73.9%	77.9%	82.9%
	観光客	那覇市での観光体験を通じて、歴史・文化・自然資源等の多様な観光資源に触れることで再来訪意向が醸成されている	観光客の再来訪意向	78.8%	69.9%	80.5%	82.0%

(2) 第2次那覇市観光基本計画のKPIの現況

取組の柱	基本施策	KPI	基準値	現況値	目標値	
				2025年	2029年	2034年
1. 沖縄のゲートウェイとしての機能強化	(ア) 国内外からの 交通ターミナル機能強化 及び クルーズ船受入機能強化	空港やクルーズターミナル等での受入環境整備に対する観光客の満足度	国内:67.3% インバウンド空: 87.7% インバウンド海: 87.2%	国内:62.9% インバウンド空: 83.8% インバウンド海: 87.1%	国内:70.0% インバウンド空: 89.0% インバウンド海: 89.0%	国内:75.0% インバウンド空: 90.0% インバウンド海: 90.0%
	(イ) 二次交通の利便性向上等 を通じた 那覇市内外の周遊促進	二次交通の利便性に係る観光客の満足度	国内:51.7% インバウンド空: 89.1% インバウンド海: 92.8%	国内:64.1% インバウンド空: 83.7% インバウンド海: 90.4%	国内:60.0% インバウンド空: 93.0% インバウンド海: 94.0%	国内:65.0% インバウンド空: 95.0% インバウンド海: 95.0%
	(ウ) MICE の誘致及び機能強化、観光の充実	那覇市におけるMICE開催件数	329件	611件 (R6値)	390件	450件
	(エ) 誰もが楽しめる安全・安心・快適な受入環境 の整備	観光客の多言語対応やバリアフリー対応等の安全・安心・快適にかかる受入環境整備の満足度	国内:32.5% インバウンド空: 84.7% インバウンド海: 80.9%	国内:52.2% インバウンド空: 86.9% インバウンド海: 86.7%	国内:45.0% インバウンド空: 90.0% インバウンド海: 85.0%	国内:50.0% インバウンド空: 95.0% インバウンド海: 90.0%
2. NAHAならではのコンテンツ造成と観光資源の保全・継承	(ア) 那覇ならではの歴史・文化・自然・食等を活かした コンテンツの充実化	国内観光客の消費額単価（市内宿泊客のみ対象）	71,229円	87,369円	79,500円	81,300円
		インバウンド客の消費額単価（空路客のみ対象）	61,776円	70,294円	77,700円	87,900円
		那覇市内で体験コンテンツを体験した観光客の割合	国内:55.7% インバウンド: 19.5%	国内:72.6% インバウンド: 73.4%	国内:65.0% インバウンド: 30.0%	国内:70.0% インバウンド: 40.0%
	(イ) データに基づく誘客戦略・ プロモーション の実施	特産品の認知度	国内:58.8% インバウンド: 23.2%	国内:67.4% インバウンド: 31.4%	国内:65.0% インバウンド: 30.0%	国内:70.0% インバウンド: 40.0%
	(ウ) 歴史・文化資源や自然資源等の観光資源の保全・継承及び活用	歴史・文化・自然資源の保全・継承に寄与する関連活動に取り組む観光関連事業者の割合	46.9%	24.4%	55.0%	60.0%

(2) 第2次那覇市観光基本計画のKPIの現況

取組の柱	基本施策	KPI	基準値	現況値	目標値	
				2025年	2029年	2034年
3.観光産業の基盤強化	(ア) 雇用の確保、労働環境等の改善	人手不足を課題に感じている観光関連事業者の割合	68.8%	44.7%	60.0%	55.0%
	(イ) 事業の効率化・高付加価値化の推進 を通じた「稼ぐ力」の向上	ICT技術等のデジタル技術導入を進める観光関連事業者の割合	43.8%	38.3%	55.0%	60.0%
	(ウ) 事業活動の活性化 を通じた 地域貢献 の拡大	積極的に地域貢献に取り組む観光関連事業者の割合	46.9%	36.9%	55.0%	60.0%
4.地域一帯推進体制の強化	(ア) 適切な観光地経営に向けた マネジメント機能強化	JSTS-Dに係るアセスメントを踏まえた課題対応件数（累計）	-	4件	15件	30件
	(イ) 市内外のステークホルダー との連携強化	観光課・観光協会を主体とした国・県、他市町村、関係機関、関係団体との連携事業数	12件	13件	14件	16件
	(ウ) 市民生活と観光振興の調和	観光振興によって市民にメリットがあると感じる市民の割合	42.7%	34.0%	50.0%	60.0%
		観光振興によって市民にデメリットがあると感じる市民の割合	53.5%	61.0%	45.0%	35.0%